

事務事業評価シート

H27(標準事業)

①基本事項	計画コード	事業名	部名	市民文化部
	19290-1	国際化推進事業	室名	文化振興局共生社会推進室
	基本施策の大綱	02:市民参画・協働と地域づくりの推進	財	会計 一般会計
	基本施策	05:多文化共生の推進	務	款 教育費
	施策の方向	01:外国人との共生	科	項 社会教育費
戦略プロジェクト		目	目 社会教育総務費	

②目的・概要	対象	外国人住民、外国人住民と関わる市民、市職員
	目的	市民が、国籍や文化の違いを認め合い、共に地域社会の一員として暮らせる環境づくりを推進していく。
概要	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体の運営による日本語教室を開催し、外国人に対しコミュニケーションツールとなる日本語の習得を目的としている。また、多国籍な生徒間での交流や防災教室及び料理教室などの文化や生活情報を学ぶ機会にもなっている。 外国人住民に対し、生活情報の発信や通訳及び翻訳などの支援を行う。 市民や市職員に対し、多文化共生の意識啓発を行う。 	

		27年度	28年度
①	名称	日本語教室の開催	計画値
	補足	1回/週開催。習熟度にあわせたクラス編成により市民活動団体が運営。	実績値 38 単位 回
②	名称	日本語ボランティア養成講座の開催	計画値
	補足	外国人住民の日本語取得のためのサポートを行える市民ボランティアの養成。	実績値 1 単位 回
③	名称		計画値
	補足		実績値 単位
④	名称		計画値
	補足		実績値 単位

年度計画				年度実績				
④事業の計画・実績					<ul style="list-style-type: none"> 日本語教室の開催 38回(4月～12月に34回、3月に4回) 日本語ボランティア養成講座 1回、参加者15人 携帯電話への情報発信 毎月中旬 3言語(英、ポ、やさしい日本語) 亀山ニュース(外国語版市広報)の発行 毎月15日 2言語(英、ポ) 市内の希望する 事業所、自治会、学校・園、コンビニなどへ配付 多文化共生職員研修(やさしい日本語)を実施 2回 外国人集住都市会議に加盟 			
	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	4,550	平均給与額×③
	国庫支出金				一般職員人件費 ②	4,550		
	県支出金				所要人員 ③	0.60		
	地方債				臨時職員人件費 ④			
	その他		90	98	受益者負担額 ⑤			
	一般財源		5,362	5,061	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
		総人件費		①	4,550			
	総コスト		⑥	9,709				

⑤事業の評価	【事業の成果】	日本語教室においては、延べ648人の外国人が受講しており、日本語取得のサポートを行うとともに、日本の文化や生活習慣についても学ぶことで、日本への理解が深まった。また、日本語ボランティア養成講座及び多文化共生職員研修(やさしい日本語)の開催により、外国人住民と互いにコミュニケーションを図る方法や多文化共生への理解を深めた。	総合判定 B まずまず進んだ
	【反省点・課題】	日本語教室の受講者については、受講しやすい期間となるよう開催時期を厳寒期を除き実施したが、継続して動向をみていく。外国人への情報発信として、携帯電話への情報発信を行っているが、利用者の加入促進と災害や緊急時においても活用ができないか検討が必要である。	
	【改善の方向性】	日本語教室を効果的に実施するため、開催時期を平成27年度から変更したほか、授業内容の検討なども継続して行っていく。携帯電話への情報発信について、内容の見直しと災害や緊急時に発信できるしくみの検討を進める。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 共生社会推進室長 渡邊 知子